

2 令和3年主要災害種類別被害概況

(1) 令和2年12月中旬以降の降雪等による農作物被害

令和2年12月中旬以降の降雪等により、果樹の樹体損傷や、野菜の損傷や枯死等が発生し、被害面積は1,440ha、被害見込金額は14億2,000万円となった。

ア 作物別被害

作物別の被害見込金額は、りんご等の果樹が12億1,000万円（被害総額の85%）と最も大きく、次いでほうれんそう等の野菜が1億7,600万円（同12%）、アルストロメリア等のその他農作物が3,300万円（同2%）となった。

イ 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、秋田県が11億6,000万円（被害総額の82%）と最も大きく、次いで山形県が9,700万円（同7%）、新潟県が5,900万円（同4%）となった。

(参考) 気象概況

令和2年12月中頃と12月下旬後半から1月上旬にかけて、日本付近に強い寒気が流れ込んだ影響で、日本海側を中心に大雪及び低温となった。

表1 被害概況（総括表）

区 分	被害面積		被害量	被害見込金額	構成比	主な被害地域
	30%以上	30%未満				
	ha	ha	t	100万円	%	
総 数	1,440	585	5,980 440 千本	1,420	100	秋田
野 菜	159	21	578	176	12	高知、新潟、山形、富山
果 樹	1,260	559	5,370	1,210	85	秋田
工 芸 農 作 物	0	-	0	0	0	
飼 肥 料 作 物	10	-	24	1	0	
そ の 他 農 作 物	9	5	0 440 千本	33	2	

注：1 被害面積欄に示されている「30%以上」は、被害量が平年（平均）収量の30%以上あった面積をいう（以下の各表において同じ。）。

2 その他農作物は、切り花、種苗・苗木類、芝等である（以下の各表において同じ。）。

3 被害量の単位はtである。なお、切り花及び種苗・苗木類は千本、鉢物類は千鉢、芝は10aである（以下の各表において同じ。）。

4 構成比は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下の各表において同じ。）。

(2) 4月中旬以降の降霜による農作物被害

4月中旬以降の降霜により、果樹の結実不良や、野菜の茎葉の枯死等が発生し、被害面積は1万2,600ha、被害見込金額は195億円となった。

ア 作物別被害

作物別の被害見込金額は、おうとう等の果樹が194億万円（被害総額の99%）となった。

イ 都道府県別被害

都道府県別の被害見込金額は、山形県が124億円（被害総額の64%）と最も大きく、次いで福島県が27億9,000万円（同14%）、長野県が17億8,000万円（同9%）となった。

(参考) 気象概況

令和3年4月中旬から下旬にかけて北から寒気が流れ込んだ影響により低温となり、全国の広い範囲で降霜が数日あった。

表2 被害概況（総括表）

区分	被害面積		被害量	被害見込金額	構成比	主な被害地域
	30%以上	30%以下				
総数	12,600 ha	4,310 ha	46,300 t 513 千本	19,500 100万円	100 %	山形、福島、長野
麦類	1,130	-	763	25	0	
野菜	225	4	144	76	0	
果樹	11,200	4,270	45,400	19,400	99	山形、福島、長野
工芸農作物	35	12	20	35	0	
桑	15	15	x	x	0	
その他農作物	21	6	513 千本	26	0	

(3) 台風第9号、第10号及び8月11日からの大雨による農作物被害

台風第9号、第10号及び8月11日からの大雨により、浸冠水、倒伏、茎葉の損傷及び枯死等が発生し、被害面積は2万9,500ha、被害見込金額は45億3,000万円となった。

ア 作物別被害

作物別の被害見込金額は、こまつな等の野菜が14億5,000万円（被害総額の32%）と最も大きく、次いで水稻が11億7,000万円（同26%）、大豆等の雑穀・豆類が10億9,000万円（同24%）となった。

イ 都道府県別被害

都道府県別の被害見込

金額は、福岡県が15億7,000万円（被害総額の35%）と最も大きく、次いで佐賀県が15億5,000万円（同34%）、新潟県が2億9,400万円（同6%）となった。

(参考) 気象概況

令和3年8月8日頃に台風第10号が日本の南を、その後台風第9号が西日本を、台風第9号から変わった温帯低気圧が北日本を通過したことに伴う暴風や大雨の影響で、九州を中心に被害が発生した。また、8月中旬に本州付近に停滞した前線などの影響により、東日本太平洋側と西日本では降水量はかなり多く、特に西日本では8月としては記録的な多雨となった。東日本太平洋側、西日本日本海側、西日本太平洋側の8月中旬降水量はそれぞれ平年比483%、768%、766%で、8月中旬として1946年の統計開始以来1位の多雨となった。

表3 被害概況（総括表）

区分	被害面積		被害量	被害見込金額	構成比	主な被害地域
	30%以上	30%以下				
	ha	ha	t	100万円	%	
総数	29,500	6,640	20,400 1,510 千本 3 千鉢	4,530	100	福岡、佐賀、新潟
水陸稲	14,400	612	5,460	1,170	26	佐賀、新潟、福岡
雑穀・豆類	9,420	5,640	6,350	1,090	24	佐賀、福岡
野菜	971	203	3,970	1,450	32	福岡、佐賀
果樹	2,070	64	1,860	677	15	
工芸農作物	2,390	54	1,390	65	1	
飼肥料作物	239	68	1,420	14	0	
その他農作物	20	0	1,510 千本 3 千鉢	72	2	